

事務事業名	歴史研究所教育事業			会計	一般会計	事業種別	政策	開始	14	終了	
H27担当課等名	歴史研究所	H27係等名	総務係	H26係等名	総務係						
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり								
	施策	29	ふるさと意識の醸成								
目的	対象(誰・何を)	市民 小・中・高校生					対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	・歴史・文化についての関心・理解を深める。						飯田市の人口(人) (H26.10.1推計人口)		102446	
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)						小・中・高校生生徒数		12588	
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	受講した市民の数			2400	2952	2400	1500			
	成果指標	出前講座等に参加した小・中・高校生の数(延べ)			150	206	150	180			
定性目標											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域市民の学びを支援するセンターとして、様々な学びの機会を提供する。</li> <li>・各地区で活発に取り組まれている地域市民による史料調査や地域の学習・研究活動を協働・支援し、「地育力」を高める活動を行う。</li> <li>・市民を対象にした外部講師(大学教授等)による高等教育水準学術講座の定期的な開催や、調査研究活動を基礎にした研究所スタッフの指導により、市民が主体的に自らの歴史を学んでいく環境を提供する。</li> <li>・市民が主体的に歴史を学んでいくゼミナール等を中心に、地域の歴史・文化を発見し、豊かな人材育成を図る。</li> <li>・若い世代がこの地域の歴史を学び、かつより広い視野を持つ機会を提供し、この地域を大切に思う心を培う。</li> </ul>										
事業内容					名称			活動指標			
26年度事業内容	1 飯田アカデミアの開催				1 アカデミア開催数			1 3回			
	2 歴研ゼミナールの開催				2 歴研ゼミナール開講数			2 111回			
	継続:近世史・近現代史・古代史・思想史・建築史・満洲移民研究 新規:自分史方法論【新】				3 地域史講座開催数			3 2回			
	3 地域史講座の開催 歴研刊行物などをテキストとし、最新の地域史研究の成果を発表する講座				4 古文書入門講座開催数			4 21回			
	4 古文書入門講座の開催				5 出前講座開催数			5 30回			
	5 出前講座(学校・研究団体・公民館等と連携)の開催、体験学習の受入れ				6 歴研ニュース発行回数			6 6回			
	6 歴研ニュースの発行				7 市民研究員の人数			7 6人			
7 市民研究員の募集・育成											
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		1,016	1,323	1,123	1,260	(そ)諸収入 34千円					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		28	70	34	70						
一般財源		988	1,253	1,089	1,190						
人件費計(千円)②		4,470		4,649							
正規職員所要時間		1,250		1,300							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		5,486	1,323	5,772	1,260						
事業内容・目標達成状況の振り返り	学校・公民館・団体等に出前講座を行い、地域を知る機会とした。 古文書を学びたいとの要望に応え、初心者を対象とした古文書入門講座2クラスを開講した。また、講義資料は地元の古文書を活用し、地域の歴史を知ることのできる講座とした。										
改革改善の考え方	①問題点	アカデミアは、高等教育水準の学術講座であるため、内容が専門的で一般的には受入れにくい部分がある。									
	②改革提案	講座の内容を当地域に関連するものを中心とし、市民・受講者の関心が向く工夫をする。アンケートを行い、希望するテーマに沿った講師の選定をする。地域史・出前講座を積極的にを行い市民へ還元する。									